

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	設計製図1 (Atelier Practice of Design and Drawing 1)		
ナンバリングコード	L20306	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築設計製図
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	必修		
授業コード	L030601	クラス名	-
担当教員名	木村 智、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、後藤 康仁、山崎 真司		
履修上の注意、履修条件	製図、CADの授業を受講しておいてください。 毎回、提出物がありますので、提出期限を厳守して提出してください。		
教科書	資料を配付します。		
参考文献及び指定図書	建築製図の基本と描きかた(彰国社)フランシス・D.K.チン(著)、太田 邦夫(訳) 図解 建築プレゼンのグラフィックデザイン(鹿島出版会)坂牛卓、平瀬有人、中野豪雄(著) コンパクト建築設計資料集・同「住宅」・同「インテリア」(建築資料研究社) 建築思潮研究所編		
関連科目	造形、基礎製図、CAD製図、CAD1、CAD2、スペースデザイン、建築計画など		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	建物の設計に必要な知識や感覚を身につける基礎的訓練を行います。前半は建築設計製図の基礎的学習と演習を行います。演習によって、建築製図の基礎を習得し、実際に設計を行っていくための技法を学びます。後半は、実際の建築物を課題とする建築設計課題に取り組む前に、設計を行うための基本寸法を習得します。その後、発想法、エスキースの仕方や空間構成の技法などを習得するための訓練を行います。演習を経て、2年生後期の設計演習を自主的に進めることができるようになることが課題です。
授業の概要	前半は、安藤忠雄設計「住吉の長屋」について、以下の3つのことを行います。 1. 設計演習を行うために必要な建築模型が作成できる程度の図面のトレース、2. 建築模型制作、 3. 各種詳細図のトレースを行います。 後半は、5×5mの立方体を基本単位とする「マイ・スペース」を設計します。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」 (2)複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3)アクティブ・ラーニング プレゼンテーション 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	「宮部洋二(studio/CASAS一級建築士事務所 所長)(建築設計コンサルタント業務)」、「建築設計に関する製図法、および基礎的デザイン演習の授業担当」 「後藤康仁(後藤建築設計事務所 所長)(建築設計コンサルタント業務)」、「建築設計に関する製図法、および基礎的デザイン演習の授業担当」 「山崎真司(Yama Design 所長)(建築設計コンサルタント業務)」、「建築設計に関する製図法、および基礎的デザイン演習の授業担当」

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築家の作品に限らず、自分や他人の作品にも関心を持つ。			10点
【知識・理解】				
【技能・表現・コミュニケーション】	①図面の表現技法を習得する ②パース・エスキースの技法を習得する。		60点	
【思考・判断・創造】	プランニングの方法を学習する。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講評会前日に図面一式と模型を提出することが単位取得の最低条件です。講評会前に各担当教員の評価とフィードバックを受けてください。また、作品の成績評価が確定した後に、学内の掲示板等で通知をしますので、自宅へ持ち帰るなど、各自で管理をしてください。定められた期限以降も製図室内に図面や模型を放置している場合は減点対象とします。内容の評価については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。
S:よく満たしている。 A:ほぼ満たしている。 B:一応満たしている。 C:一部分満たしている。
※講評会などで優れた発表を行ったり、積極的に発言した場合は、記録して加点することがあります。
※詳細な成績評価やその理由を知りたい場合は、講評会以降に科目の担当者に問い合わせてください。

○その他
製図室は建築学科全体の共有スペースです。使用した後は身の周りを綺麗に片付けて退出してください。各講評会終了週以降に履修者全員参加による大掃除をしますので、必ず参加してください。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：設計製図1 (Atelier Practice of Design and Drawing 1)	授業コード：L030601
	担当教員：木村 智、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、後藤 康仁、山崎 真司	
学修内容		
1. 安藤忠雄設計「住吉の長屋」について 授業のオリエンテーションを行います。安藤忠雄設計の「住吉の長屋」について説明します。課題の説明を行います。授業で使用使用するプリントを配布します。		
	予習：安藤忠雄「住吉の長屋」について、事前調査を行う。	(約2.0h)
	復習：安藤忠雄「住吉の長屋」について、重要なポイントを箇条書きでまとめる。	(約2.0h)
2. 「住吉の長屋」の簡易版図面トレース 「住吉の長屋」の簡易版図面トレースを行う(平面図、立面図、断面図)。簡易版図面のトレースの後に、「住吉の長屋」の模型を作成する。そのことを踏まえて図面のトレースを行う。		
	予習：配付資料を用いて「住吉の長屋」の図面を読み、立体的な空間イメージを構想できるようにする。	(約2.0h)
	復習：「住吉の長屋」の簡易版図面トレースを行うための、図面の読み込み、および図面作成。	(約2.0h)
3. 「住吉の長屋」の簡易版図面トレース 「住吉の長屋」の簡易版図面トレースを行う(平面図、立面図、断面図)。簡易版図面のトレースの後に、「住吉の長屋」の模型を作成する。そのことを踏まえて図面のトレースを行う。		
	予習：配付資料を用いて「住吉の長屋」の図面を読み、立体的な空間イメージを構想できるようにする。	(約2.0h)
	復習：「住吉の長屋」の簡易版図面トレースを行うための、図面の読み込み、および図面作成。	(約2.0h)
4. 「住吉の長屋」の模型制作 「住吉の長屋」の模型を作成するための方法を説明します。 模型を作成するために必要な工具、材料(カッター、直尺、スコヤ、スチノリ、カッターマット、スチレンボード)を準備すること。		
	予習：模型を作成するために必要な工具、材料をそろえること。	(約2.0h)
	復習：模型を完成させる。	(約2.0h)
5. 「住吉の長屋」の詳細図のトレース 「住吉の長屋」の詳細図のトレースを行う。		
	予習：配付資料を用いて「住吉の長屋」の詳細図面を読み、詳細な空間イメージを構想できるようにする。	(約2.0h)
	復習：「住吉の長屋」の詳細図のトレース作成。	(約2.0h)
6. 「住吉の長屋」の詳細図のトレース 「住吉の長屋」の詳細図のトレースを行う。		
	予習：配付資料を用いて「住吉の長屋」の詳細図面を読み、詳細な空間イメージを構想できるようにする。	(約2.0h)
	復習：「住吉の長屋」の詳細図のトレース作成。	(約2.0h)
7. 「住吉の長屋」の詳細図のトレース 「住吉の長屋」の詳細図のトレースを行う。		
	予習：配付資料を用いて「住吉の長屋」の詳細図面を読み、詳細な空間イメージを構想できるようにする。	(約2.0h)
	復習：「住吉の長屋」の簡易版図面、模型、詳細図の提出。	(約2.0h)
8. 身体寸法の測定と空間把握 建築の空間とは人のいる空間です。人は身体という物理的な大きさを持ちます。まず、自分の身体を測定して、その基本的な大きさを確認します。そして、自分にとって快適なイスの高さやテーブルの大きさを確認するとともに、自分の身体の高さから建築空間や家具の大きさを把握する練習をします。		
	予習：教科書『コンパクト建築設計史料集成』p44-45など)により、身体寸法と伝統的尺度について調査する。	(約2.0h)
	復習：自分の部屋の実測調査に先立ち、自分の身体を使って大体の寸法を測定する。	(約2.0h)

○授業計画	科目名：設計製図1 (Atelier Practice of Design and Drawing 1)	授業コード：L030601
	担当教員：木村 智、島岡 成治、西村 謙司、宮部 洋二、後藤 康仁、山崎 真司	
学修内容		
9. 自分の部屋のおこし絵の作成1 自分自身の身体寸法と比較しながら、最も身近な空間である自分の部屋のおこし絵を作成します。そのため、実測してきた野帳をもとに、できるだけ正確な平面図、展開図、天井見上げ図を1/30で作成しますが、必要で不足する実測部分を確認します。		
	予習：配布資料の例を参考にして、自分の部屋を実測し、野帳を作成する。	(約2.0h)
	復習：不足する実測部分を実測し、野帳を完成する。	(約2.0h)
10. 自分の部屋のおこし絵の作成2 正確な実測図をもとに、おこし絵を完成し、組み立てる。その際、1/30で自分の身体のシルエットを置き、部屋にいるときの基本的な動作空間の大きさを確認します。		
	予習：正確な実測図を完成する。	(約2.0h)
	復習：教科書『コンパクト建築設計史料集成』p46-113など)において室と場面における基本的寸法を確認する。	(約2.0h)
11. マイ・スペースの設計1 5×5mの立体フレームの構造体の中に、自分のお気に入りの空間を設計します。基本的にひとりで生活できる場所ですが、何をもちこんでもかまいません。課題説明をした後、グループに分かれ、それぞれの指導教員の指示によりながら、基本コンセプトを考えます。		
	予習：自分にとって理想の部屋についてのコンセプトを考え、そのために必要なものの大きさを調査する。	(約2.0h)
	復習：敷地条件と5×5mの構造体を踏まえた、マイ・スペースの基本コンセプトと造形イメージの構想。	(約2.0h)
12. マイ・スペースの設計2 基本コンセプトに沿って、エスキースを作成します。エスキースの作成過程は試行錯誤の連続です。本当のお気に入りの場所となるよう、何度もエスキースを重ねてください。		
	予習：マイスペースのコンセプト、造形イメージを含むエスキースの発表準備。スタディ模型の作成。	(約2.0h)
	復習：造形イメージのエスキースに基づく、平立断面図の検討。	(約2.0h)
13. マイ・スペースの設計3 ある程度エスキースが固まったら、三面図やスタディ模型の作成を行います。しかし、この段階で、いろいろの問題がみえてきたり、あるいは、もっと面白い空間となる可能性がみえてくるものです。必要に応じて、エスキースの練り直しを行います。		
	予習：マイスペースのコンセプト、造形イメージに基づく、平立断面図のエスキースの発表準備。	(約2.0h)
	復習：授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。	(約2.0h)
14. マイ・スペースの設計4 提出のための模型と図面を仕上げます。ここでは、各自の設計内容とコンセプトを適切に表現するためのプレゼンテーションが求められ、さまざまな模型制作方法や図面表現方法、図面への写真の取り込み、透視図やスケッチの利用の仕方などが指導されます。		
	予習：平立断面図のエスキース、パース・模型作成、およびプレゼンテーション図面の検討とその発表準備。	(約2.0h)
	復習：授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。	(約2.0h)
15. マイ・スペースの設計の講評会 図面、模型の提出を行います。また、担当教員全員の出席のもと、各自の模型と図面が展示され、講評会が行われます。講評会は、作品制作者自身からコンセプト等の発表が行われ、学生からは質疑応答が行われます。他の学生の意見や担当教員以外の教員からのアドバイスを受ける絶好の機会です。		
	予習：設計案の図面、模型、パースの作成、およびそれらのプレゼンテーション図面の作成。発表準備。	(約2.0h)
	復習：講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。	(約2.0h)
16. 期末試験 期末試験は行いませんが、履修者全員参加で製図室の大掃除をします。		
	予習：	
	復習：	